

YOKOHAMA Station City で不用衣類の回収キャンペーン第4弾を実施

特典として YOKOHAMA Station City 内の施設で利用できるクーポンを進呈^{※1}
「SDGs 未来都市」横浜市の中心、横浜駅から SDGs に根差したエリア価値の向上を推進

開催期間:2022年2月26(土)・27日(日) 2日間

YOKOHAMA Station City 運営協議会(会長:東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長: 照井 英之)は、2022年2月26(土)・27日(日)の2日間、不用衣類を回収するキャンペーンを日本環境設計株式会社と協力して実施いたします。2020年度から本キャンペーンを実施しており、今回は4回目の開催となります。

上記期間中、YOKOHAMA Station City 内の会場^{※2}にご不用になった衣類をお持ちいただくと、衣類1点につき「500円分のクーポン」1枚を進呈します^{※1}。クーポンは YOKOHAMA Station City 内の施設で利用でき^{※3}、お一人さま2枚までの進呈となります。クーポンの配布は予定枚数に達し次第終了となりますが、回収時間内は不用衣類の回収を実施いたします。

キャンペーンを通じて回収した不用衣類は、日本環境設計株式会社の持つ独自の技術“BRING Technology”によって、ポリエステル繊維(樹脂・糸・生地・服など)にリサイクルされ、まだ着られるもの、使えるものは寄付やリユースされます。ポリエステルは、何度でもリサイクルできるケミカルリサイクルを通じて、持続可能な資源になり、新たな衣類の原材料へと生まれ変わります^{※4}。

JR 東日本グループは、ESG 経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組んでおります。YOKOHAMA Station City では、このキャンペーンを通じて、エリアの価値向上に取り組んでまいります。

また、不用衣類と引き換えに進呈したクーポンを YOKOHAMA Station City 内の施設でご利用いただくことで、多くのお客さまにエリアの魅力に触れていただきたいと思います。



不用衣類の回収キャンペーン キービジュアル



不用衣類の回収キャンペーン 前回の様子

※1: お一人さま最大2着までお持ち込み可(クーポンはお一人さま最大2枚までの配布)。

※2: JR 横浜タワー アトリウム2階のみとなります。

※3: 1会計につき税込3,000円以上で1枚、税込6,000円以上で2枚、1会計につき最大2枚まで利用可。

※4: ポリエステル以外の原料も可能な限り資源にまで再生しています。

不用衣類の回収イベント開催概要

開催期間: 2022年2月26(土)・27日(日)

クーポン利用期限: 2022年2月26(土)～3月31日(木)

回収場所: JR横浜タワー アトリウム2階

回収時間: 各日とも10:00～17:00

概要 要: 衣類回収ボックスにご不用になった衣類をお持ち込みいただくと、各日先着3,000名の方に、衣類1点につき「500円分のショッピングクーポン」1枚を進呈します。クーポンは、YOKOHAMA Station City内の施設でご利用いただけます。お一人さま2着まで(クーポン最大2枚まで)。

クーポン利用条件: 対象施設にて、1会計につき税込3,000円以上で1枚、税込6,000円以上で2枚、1会計につき最大2枚までご利用可能です。

クーポン利用対象施設: ニュウマン横浜、シアル横浜、シアル横浜アネックス、JR東日本ホテルメッツ 横浜、ルミネ横浜、エキュートエディション横浜、T・ジョイ横浜、gooz JR横浜タワー店

※一部、ご利用いただけない商品やサービスがございます。

※下記の店舗ではご利用いただけません。

ニュウマン横浜(ティファニー)

シアル横浜(NewDays、つけめんTETSU)

ルミネ横浜(シャネル フレグランス&ビューティ、よこはま駅ビル眼科、朝日カルチャーセンター)

主催者: YOKOHAMA Station City 運営協議会

YOKOHAMA Station Cityの「持続可能な開発目標(SDGs)」への貢献について

JR東日本グループは、ESG経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組みます。

具体的には、「安全」が経営のトッププライオリティであることをグループ共通の理念として掲げ、すべての事業の基盤であるステークホルダーの皆さまからの「信頼」を高めるとともに、「ヒト(すべての人)の生活における『豊かさ』を起点とした社会への新たな価値の提供」に向け日々の挑戦を続けていくことで、「持続可能な社会」とグループの持続的な成長を実現していきます。

YOKOHAMA Station Cityは、SDGsに根差した活動を通じて、新しい価値の提供とエリア価値の向上に取り組んでまいります。なお、この度の取り組みは、SDGsにおける下記3つの目標に貢献しています。



目標9 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

目標11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

目標12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する



JR東日本グループのSDGsの達成に向けた詳細: <https://www.jreast.co.jp/company/csr/>

「YOKOHAMA Station City 運営協議会」について

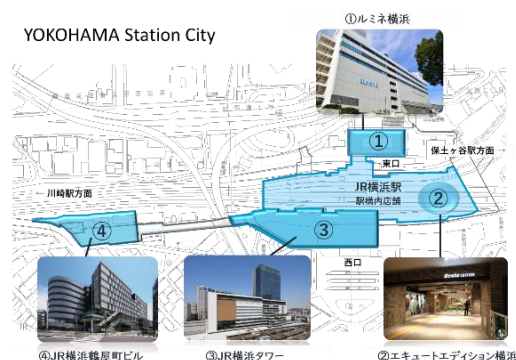
会長: 照井 英之(東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長)

住所: 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-26

URL: <https://yokohamastationcity.com/>

「YOKOHAMA Station City」の誕生に併せて発足した、JR 東日本グループ 9 社から成る JR 横浜駅のタウンマネジメント組織です。「YOKOHAMA Station City」に関する情報発信・PRをはじめ、JR 横浜タワー内のアトリウムや屋上広場「うみそらデッキ」、JR 横浜駅南改札内「SOUTH COURT」といったイベントスペースのトータル管理・運営などを通じて、JR 東日本グループ一体となって JR 横浜駅のイメージ向上および、駅周辺エリアの活性化に取り組んでいます。

【エリア内 JR 東日本グループの施設】



①ルミネ横浜

②JR 横浜駅(エキュートエディション横浜、駅構内店舗)

③JR 横浜タワー(ニューマン横浜、シアル横浜、STATION SWITCH)

④JR 横浜鶴屋町ビル(シアル横浜アネックス、JR 東日本ホテルメッツ 横浜、
ジェクサー・フィットネス&スパ横浜)

【会 員】

東日本旅客鉄道(株)、(株)ルミネ、(株)横浜ステーションビル、(株)ジェイアール東日本ビルディング、日本ホテル(株)、(株)JR 東日本クロスステーション、JR 東日本スポーツ(株)、(株)ジェイアール東日本企画、(株)JR 東日本環境アクセス(計 9 社)

「日本環境設計」について

代表取締役社長: 高尾 正樹

住所: 神奈川県川崎市川崎区扇町 12-2

URL: <https://www.jeplan.co.jp>

JR 東日本スタートアップ株式会社が主催する JR 東日本スタートアッププログラムにおける支援を進める企業であり、BRING 製品の製造・販売・服の回収・リサイクル、企業と連携したあらゆるものを循環させるプロジェクトの企画・運営、PET ケミカルリサイクル技術関連事業を行っています。

※JR 東日本スタートアップ株式会社・・・2018 年 2 月設立。オープンイノベーションによる共創活動を加速するため、ベンチャー企業に対する出資および協業推進を行っています。

※「JR東日本スタートアッププログラム」・・・ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラム。

「BRING™」について

世界ではファッション産業から年間 9200 万トンのごみが排出されていると言われています。「BRING™」は、使われなくなった服のごみを回収し、その中のポリエステルをもう一度ポリエステルの原料に再生することで「服から服をつくる」を実現するブランドです。

